



環境を美しく健やかに
私たちは環境美化創造企業です



第61期

ZAOH LETTER

私たち蔵王産業は、
クリーンな労働環境や生活環境づくりに積極的に関わり、
高品質な環境クリーニング機器を提案、提供する企業です。

● 売上高

6,944 百万円

前 期 比

1.6 % 増



● 経常利益

1,115 百万円

前 期 比

5.1 % 増



● 自己資本比率

84.9 %

前 期 比

0.7 ポイント 減



● 1株あたり純資産

1,759.19 円

前 期 比

65.47 円 増



● 配当金

55 円

前 期 比

—



● 配当性向

45.2 %

前 期 比

7.2 ポイント 減



全国21拠点の
販売網強化のため、
主力販売代理店との関係再構築へ



代表取締役社長 北林 恵一



2017年3月期の業績はいかがでしたか？



ここ数年の特需に頼ることなく、積極的な営業活動を実施することにより、前期を上回る業績が残せました。

当期における国内経済は、依然として個人消費が停滞気味ながら企業収益は緩やかな回復基調にありました。こうした中、当社グループは付加価値の高い新商品の積極的な投入や講習会、展示会を通じて新たな清掃システムを提案し、代理店販売の拡充に努めました。

当期はここ数年の除染作業に関連した需要が一巡したことにより、搭乗式大型清掃機の販売が低調でありましたが、強アルカリイオン電解水生成機「ZKプレミアム」が引き続き好調でこれまでのビルメンテナンス業に加えて、鉄道関連ほか、一般工場など製造業にも数多く導入されるようになり、その販路は年々拡大し、業績に大きく貢献しています。また、当期の新商品の中では、従来の床洗浄機では作業しにくい場所の洗浄を可能にした超小型振動ポリッシャー「ナノエッジ」の販売が順調に推移しました。なお、コンシューマー向けにOEM供給した小型スチーム機器については、市場ニーズに合わせた改良版を投入したことにより、大きく売上を伸ばしました。また、子会社であるエタニ産業株

式会社は、関東圏以外にも積極的に営業展開したことが奏功し、水質浄化剤等の売上が堅調に推移し、増収となりました。

これらの結果、2017年3月期における当社グループの連結業績は、売上高6,944百万円（前期比1.6%増）、営業利益1,073百万円（同4.3%増）、経常利益1,115百万円（同5.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益761百万円（同15.9%増）となりました。

当社では、東日本大震災以降、除染作業用として搭乗式大型清掃機や真空掃除機の需要が続いていましたが、前期で国の予算はほぼ終了してしまったことから、当期より除染関連のプロジェクトを発展的に解消し、全国展開しているレンタル会社に対して、搭乗式大型清掃機の営業を専門に扱う広域レンタルチーム、東北三陸地方での復興需要に対応する復興チームを立ち

上げ、あらたな需要喚起に努めました。また、あらためて全国21ヵ所の営業所における主要な販売代理店との取引関係を強化すべく、私自身も全国の販売代理店を約120件訪問するなど、精力的な営業活動を展開しました。こうした取り組みを1年間継続したことで、これまで実績が上がっていなかった販売代理店との取引がスタートするなど、目に見えた成果があり、最終的に増収増益とすることができました。

これからも地に足を着けた営業活動で足下を固め、その上であらたな販路等を開拓しながら、引き続き業容拡大に努めたいと考えております。



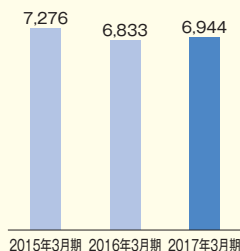
「ZKプレミアム」の販路が広がっている理由は何でしょうか？



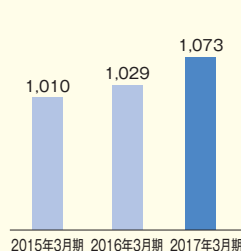
ここ数年、全国で講習会を実施してきたことにより、「ZKプレミアム」は

● 財務ハイライト(連結) (単位:百万円)

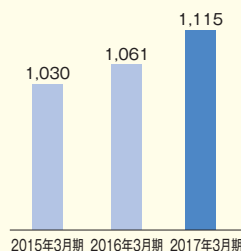
● 売上高



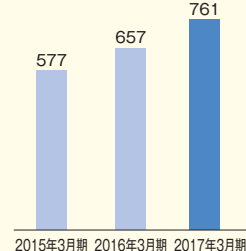
● 営業利益



● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益



ビルメンテナンス業では認知されてきていますが、当期からはビルメンテナンス業以外にも、大手の食品工場、金属工場、化学工場などの製造現場に導入していただく機会が増えました。これは強アルカリ水で洗浄しても塩素系洗浄剤のように設備が錆びる心配がなく、洗浄後も残留洗剤がなく環境に優しいことから、各種製造現場のニーズとマッチしたことがその背景にあると感じています。

現在、アルカリイオン水というとpH12以下が一般的ですが、当社の「ZKプレミアム」はpH13.1まで生成できることから、講習会や実演の現場ではpH13に近づくにつれて洗浄効果が飛躍的に高まる様子を間近で見られたユーザーがその洗浄力の違いに納得されて、即決される場面も多々見受けられました。



営業員の能力を引き上げるために、どのような取り組みをされていますか？



当社における営業の強みは、実演営業で鍛えられた営業員個々のマンパワーにあります。数多くの様々な現場での実演を経験させることで、一人ひとりの能力が高められていきます。例えば、新商品が投入される前に全国の営業員を本社に集めて勉強会を実施します。営業員はそこで得た商品知識を基に、

地域の販売代理店のユーザーを集め、操作方法、性能、洗浄効果等を確認していただくとともに、販売代理店へ最新情報を提供する機会としています。こうした講習会は、小規模なものも含めると年間約100回以上開催されており、その後、販売代理店にユーザーから引き合いが入ると、営業員が販売代理店と一緒に現場へ出向いて実演を行うことで、販売代理店の営業員の商品理解が深まるとともに、当社営業員との関係もより身近になることで、結果としてユーザーへの提案力も高まることになります。



コンシューマー向けの販売状況はいかがでしたか？



当社は、国内にある既存商品と比べて価格競争力があり、アタッチメントの充実等、差別化した商品を大手量販店、通信販売向け等にOEM供給しています。当期は前期に生産が間に合わなかった小型スチーム機器の改良版を市場投入したことによって、大幅に売上を伸ばすことができました。また、家庭で簡単にスーツなどのしわ伸ばしができるあらたなスチーム機器についても今期から本格的な生産

体制に入ります。市場にある先行商品よりも価格面等で優位性があることから、既に大手量販店を中心に多くの引き合いが寄せられており、業績向上に寄与することが期待されています。



今期の営業方針をお聞かせください。



2018年3月期の事業環境につきまして、当期と大きく変わらず、東京オリンピックが開催される2020年までは建設需要等で緩やかに成長すると考えております。とはいえ、単に既存商品を置き換えるだけでは事業の幅が広がりません。これまでどおり、新商品開発、全国での講習会等を積極的に行うとともに、成長力のある業種・業界に対して攻めの営業に努め、新規取引先を獲得したいと考えております。また、労働人口が減少する中で、当社の主要ユーザーであるビルメンテナンス業、製造業においては省力化が大きな課題ともなっています。さらに業務用清掃機器の市場においても、徐々にロボット化の動きも出始めてきております。実際に本格化するのはまだ先かもしれませんが、こうした時代の流れを読みながら、当社におきましてもロボット化に向けた情報収集、メーカーとの共同開発等に積極的に努めていきたいと考えております。



当社は株主様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付け、安定した配当を継続することを基本としております。今期につきましても、株主様のご期待に応えられますよう期初に定めた計画を達成できるように、役職員一同邁進してまいります。株主の皆様におかれましては何卒ご理解をいただき、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

清掃機器部門

売上高

1,213 百万円

前期比13.5%減

主要
商品

動力清掃機、真空掃除機、
カーペット清掃機、泥層・
氷層除去機

当期は、除染作業用として主にレンタル会社向けの搭乗式大型清掃機や大型真空吸引回収機の需要が一巡したこと等から、減収となりました。

●産業用乾・湿両用強力バキュームクリーナー 「バックマンISR4507」

リングブロー方式が採用されており、オイルやグリスの補充も不要で耐久性もあることから、長時間の連続運転が可能。各種製造業のライン設備に組み込まれ、好評を得ております。



●搭乗式大型動力清掃機 「AM9D-Ⅲ」

安全な全油圧駆動方式を採用し、ゴルフ場、大型テーマパーク、建設現場等、広大な敷地において、圧倒的な清掃能力を発揮します。



洗浄機器部門

売上高

3,092 百万円

前期比12.1%増

主要
商品

自動床洗浄機、カーペット
洗浄機、カーペット濯ぎ洗
い機、高圧洗浄機、スチー
ム洗浄機

当期は、ビルメンテナンス業者向けに「バルチャーオービタル」等を活用した関連商品であるカーペット洗浄機器等の販売が堅調に推移するとともに、コンシューマー向けの小型スチーム機器のモデルチェンジ版の受注が好調に推移したこと等から、増収となりました。

●高速振動ポリッシャー 「バルチャーオービタル」

高速振動式のため、左右に振られることなく、どなたでも簡単に洗浄作業ができ、均一な仕上がりを実現します。また、エレベーターのない現場や車両積み込み等で運搬の負担が軽減できるようにブラシヘッドとハンドルが二分割できる設計となっております。



●超小型振動ポリッシャー 「ナノエッジ」

軽量コンパクトでありながら、超高速回転により短時間で驚きの洗浄効果を発揮します。従来の床洗浄機やポリッシャーでは作業しにくい狭い場所での洗浄が可能となりました。



その他部門

売上高

2,638 百万円

前期比1.3%減

主要
商品

強アルカリイオン電解水生成機、部品及びメンテナンスサービス、清掃・洗浄機用消耗品及びアクセサリ、水質浄化剤、電磁サーバー、その他

当期は、子会社であるエタニ産業株式会社の売上が増収となりましたが修理工賃・パーツ等の売上が減少したため、全体では減収となりました。

●強アルカリイオン電解水生成機 「ZKプレミアム」

従来からの強アルカリイオン水の生成に加え、通常のアルカリ濃度のpH12.5に対しpH13.1の濃縮イオン電解水を生成することが可能となりました。濃度の違いは洗浄力となって表れ、ノンケミカルの洗浄へ欠かせない商品の一つとなっております。



●プール洗浄剤 「アクアビル」

陽イオン高分子凝集剤が水中の微粒子を凝集することで清掃フィルターにかかりやすい状態にし、水の透明度を高めます。



① 流動資産

主として有価証券が705百万円減少したものの、現金及び預金が714百万円、受取手形及び売掛金が109百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、7,783百万円となりました。

② 固定資産

主として建設仮勘定が223百万円減少したものの、建物及び構築物が619百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べて10.7%増加し、5,198百万円となりました。

③ 流動負債

主として未払法人税等が108百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べて12.8%増加し、962百万円となりました。

④ 純資産合計

主として利益剰余金が398百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べて3.9%増加し、11,020百万円となりました。

CHECK!

平成29年3月期連結決算の詳細は
当社HP(IR情報/IRライブラリ)に掲載しています。
<http://www.zaohnet.co.jp/irjoho/irlibrary.html>

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第61期 (平成29年3月31日現在)	第60期 (平成28年3月31日現在)
(資産の部)		
① 流動資産	7,783	7,706
現金及び預金	3,742	3,028
受取手形及び売掛金	1,903	1,794
有価証券	1,199	1,905
商品	807	874
繰延税金資産	83	77
その他	47	27
貸倒引当金	△0	△0
② 固定資産	5,198	4,695
有形固定資産	4,789	4,380
建物及び構築物	1,545	925
機械装置及び運搬具	14	14
土地	3,199	3,199
建設仮勘定	—	223
その他	29	16
無形固定資産	20	15
投資その他の資産	388	300
投資有価証券	128	78
繰延税金資産	199	152
その他	61	70
貸倒引当金	△0	△0
資産合計	12,982	12,402
(負債の部)		
③ 流動負債	962	853
支払手形及び買掛金	223	267
未払金	95	73
未払法人税等	267	158
賞与引当金	104	103
商品保証引当金	9	9
その他	262	240
固定負債	999	938
退職給付に係る負債	510	492
役員退職慰労引当金	248	204
再評価に係る繰延税金負債	172	172
その他	67	68
負債合計	1,961	1,791
(純資産の部)		
株主資本	13,190	12,792
資本金	2,077	2,077
資本剰余金	2,402	2,402
利益剰余金	8,711	8,313
自己株式	△1	△1
その他の包括利益累計額	△2,169	△2,181
繰延ヘッジ損益	5	△6
土地再評価差額金	△2,174	△2,174
④ 純資産合計	11,020	10,610
負債純資産合計	12,982	12,402

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第61期 (平成28年4月1日～ 平成29年3月31日)	第60期 (平成27年4月1日～ 平成28年3月31日)
売上高	6,944	6,833 ⑤
売上原価	3,346	3,385
売上総利益	3,598	3,447
販売費及び一般管理費	2,524	2,417
営業利益	1,073	1,029
営業外収益	43	32
営業外費用	1	0
経常利益	1,115	1,061
特別利益	—	0
税金等調整前当期純利益	1,115	1,061
法人税、住民税及び事業税	412	360
法人税等調整額	△57	44
当期純利益	761	657
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	761	657

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第61期 (平成28年4月1日～ 平成29年3月31日)	第60期 (平成27年4月1日～ 平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	931	569 ⑥
投資活動によるキャッシュ・フロー	△451	△249 ⑦
財務活動によるキャッシュ・フロー	△370	△334 ⑧
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	108	△15
現金及び現金同等物の期首残高	4,833	4,849
現金及び現金同等物の期末残高	4,942	4,833

⑤ 売上高

主要顧客である製造業に対しては、「ZKプレミアム」の需要が高まり、またビルメンテナンス業に対しては新商品の「バルチャーオービタル」の販売等が堅調で、OEM商品の小型スチーム機器の売上も伸長したことから前期比1.6%増となりました。

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は931百万円（前期比63.6%増）となりました。収入の主な要因は、税金等調整前当期純利益、減価償却費であり、支出の主な要因は、売上債権の増加、仕入債務の減少等によるものであります。

⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、451百万円（前期比201百万円増加）となりました。支出の主な要因は、配送センターの建替による有形固定資産の取得による支出があったこと等によるものであります。

⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、370百万円（前期比36百万円増加）となりました。支出の主な要因は、配当金の支払いがあったこと等によるものであります。

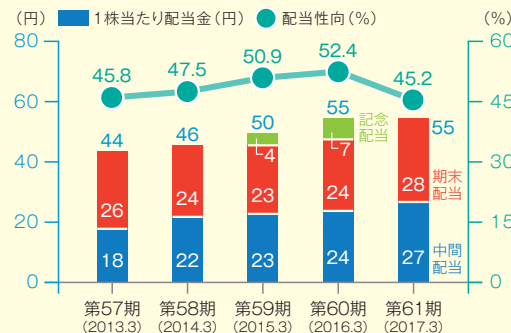
株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益配分と会社の体質強化のための内部留保との調和を図りながら、配当につきましては配当性向重視の方針を維持してまいります。

配当金額の決定につきましては、株主の皆様に長期的な観点で当社株式を保有していただくため、当社グループの事業展開や財務状況のほか会計基準の変更等特殊要因による業績変動等を総合的に勘案し、今後、毎期の業績に応じ配当性向50%程度を目標としてまいります。

なお、当期の1株当たり配当金につきましては、当期の業績等を勘案し中間配当27円に期末配当28円を加え年間配当は55円といたしました。

1株当たり配当金と配当性向



役員人事について

去る、6月28日の定時株主総会終結をもちまして、任期満了により代表取締役会長である土方孝悦氏が退任し、同日に開催されました取締役会にて専務取締役の沓澤孝則氏が取締役副社長に昇格する役員人事が決定いたしました。

今後につきましては、新たな経営体制のもと、さらなる企業価値の向上を目指す所存でございます。今後ともなお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

● 会社の概況 (平成29年6月28日現在)

社 名 蔵王産業株式会社
本 社 東京都江東区毛利一丁目19番5号
 TEL 03-5600-0311

資 本 金 20億7,776万円

役 員 代表取締役社長 北林恵一
 取締役副社長 沓澤孝則
 取 締 役 竹村 洋
 取 締 役 御幡純平
 取 締 役 金子勝介
 常 勤 監 査 役 田口 稔
 監 査 役 牛村 敦
 監 査 役 川添利賢

営業品目 動力清掃機、カーペット清掃機、泥層・氷層除去機、真空掃除機、自動床洗浄機、カーペット洗浄機、カーペット濯ぎ洗い機、高圧洗浄機、スチーム洗浄機、部品及びメンテナンスサービス、清掃・洗浄機用消耗品及びアクセサリー、その他

営 業 所 札幌営業所 仙台営業所 宇都宮営業所
 水戸営業所 船橋営業所 川越営業所
 東京営業所 横浜営業所 長野営業所
 新潟営業所 静岡営業所 金沢営業所
 名古屋営業所 京都営業所 大阪営業所
 神戸営業所 岡山営業所 広島営業所
 高松営業所 福岡営業所 鹿児島営業所
 配送センター及び試験研究室

グループ会社 エタニ産業株式会社 東京都目黒区
<http://www.etanisan.co.jp>

● 株式の状況 (平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数 22,000,000株
 発行済株式総数 6,266,000株
 自己株式数 1,278株

● 株主の状況

総株主数 5,349名

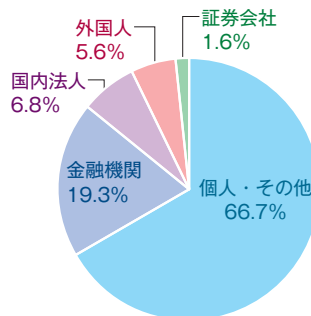
● 大株主の株式所有状況

(単位：株)		
	持株数	持株比率
佐々木 健二	1,000,530	15.97%
ノルディア バンク デンマーク エーエス クライアーツ	291,900	4.66%
(株)三井住友銀行	276,000	4.41%
(株)みずほ銀行	230,000	3.67%
(株)千葉銀行	230,000	3.67%
蔵王産業社員持株会	202,680	3.24%
東京美装興業(株)	158,400	2.53%
土方孝悦	154,900	2.47%
東京海上日動火災保険(株)	120,000	1.92%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)〈信託口〉	113,000	1.80%
合 計	2,777,410	44.33%

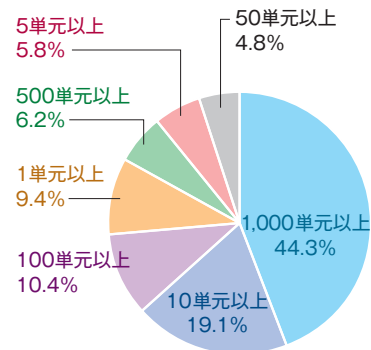
(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

● 株式分布状況

所有者別株式数構成比



所有株数別株主数構成比



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL：0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいておりますので、確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

● 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



蔵王産業株式会社

〒135-0001 東京都江東区毛利1-19-5 TEL:03-5600-0311 FAX:03-5600-0516